

令和6年度 手話通訳・要約筆記派遣説明会



4月20日(土)石川県社会福祉会館大ホールにて標記派遣説明会を開催し、総勢90名の手話通訳者・要約筆記者が出席しました。

今年度は新たにパソコン要約筆記者2名が誕生し、藤平施設長より登録証を授与しました。また、今年合格した手話通訳士3名についても紹介され、会場からお祝いの拍手が送られました。

藤平施設長からは「能登半島地震においてはICT技術を活用した支援と対面での支援の両方の大切さを痛感した。支援が必要な聴覚障害者を把握するにあたり個人情報の取扱いに課題がある」と述べました。

また、この春設置通訳を退任された堤さん原田さんへ長年の感謝と、新たに着任された古田さん竹村さんに激励をおくりました。(新規登録者等の紹介は次頁)

手話通訳者の門倉美樹子氏からは、全ろう連デフリンピック事務局に着任したことの報告とデフリンピック開催に向けた取り組みが話されました。

白山市・かほく市が派遣支払い単価を大幅改定したことに対する質問には、県聴覚障害者協会が「引き続き県内全域で要望していきましょう」と呼びかけました。

現場の声を真摯に受け止め、より良い派遣制度の確立を目指して参ります。



合同現任研修会

講演「手話通訳者・要約筆記者ができる支援 ～聴覚障害者のメンタルヘルス～」



派遣説明会に引き続き、手話通訳者・要約筆記者合同の現任研修会を実施し、東京手話通訳等派遣センター長の森せい子氏にご講演いただきました。

ご自身の生い立ちを始め、聴覚障害者、当事者の家族、支援者と様々な立場とご経験からのお話がありました。聴覚障害者のメンタルヘルスを支えるためには、社会が聴覚障害をどう捉え、どう共有できるか。手話通訳・要約筆記は言葉を橋渡しし、意思疎通がしっかりと

なされる為の支援をしなければなりません。支援者自身のメンタル面の心構えについても学ぶことができました。



令和6年度新規 石川県登録要約筆記者(パソコン)の紹介

質問してみました ①サークル名 ②趣味 ③今後やってみたいこと ④これからの抱負



塩谷 美智代

- ①羽咋要約筆記サークル
- ②旅行やドライブ。一人でふらっと出掛けることに憧れています。
- ③何かスポーツを始めたいと思います。
- ④利用者の方の立場にたった要約筆記ができるように、養成講座で学んだことを振り返りながら日々努力していきたいと思えます。



山西 裕美

- ①羽咋要約筆記サークル(予定)
- ②旅行。今春は推しの蔵王大権現様に逢いに、一人で吉野山に行ってきました。千本桜はおまけです。
- ③エコ生活を極める。
- ④還暦間近でのデビューです。不安でいっぱいですが、気合いで押し込めます。新しい世界が開けたことに感謝して、対人支援の専門職として精進いたします。

令和6年度手話奉仕員養成講座(入門・基礎編)開講のお知らせ

お問い合わせは各市町福祉課担当へ

すでに募集を締め切っている地域や、開講調整中の地域もあります。

開講等の詳細は各地域の担当課へご相談ください。



入門編				基礎編			
七尾市	中止			奥能登	未定		
津幡町	6/6~11/14	木	19:00~21:00	中能登	5/14~12/17	火	19:00~21:00
金沢市	6/19~11/27	水	16:00~18:00	羽咋市	4/18~11/21	木	19:00~21:00
金沢市	6/3~12/16	月	19:00~21:00	かほく市	5/21~12/17	火	19:00~21:00
野々市	5/29~11/13	水	19:00~21:00	内灘町	5/23~12/12	木	19:00~21:00
白山市	5/10~10/4	金	10:00~11:40	金沢市	4/13~11/30	土	13:00~15:00
小松市	5/23~10/24	木	13:30~15:00	金沢市	4/18~11/14	木	19:00~21:00
能美市	5/8~11/20	水	19:30~21:00	白山市	4/24~10/2	水	19:30~21:10
加賀市	5/29~11/6	水	19:00~21:00	小松市	5/17~11/1	金	19:00~21:00
				能美市	5/8~12/18	水	10:00~11:30

人事のお知らせ

下記の方が退職・入職されました。
これからの益々のご活躍をお祈り申し上げます。



堤 喜一さん 野々市市健康福祉部 退職

原田 景子さん 七尾市福祉課 退職

古田 和歌子さん 七尾市福祉課 入職

竹村 千賀子さん 能美市福祉課 入職

センター人事のお知らせ

この度、中嶋職員が入職されました。
皆様、よろしくお祈りいたします。



新しく職員となりました。
これから皆様のお役に立てるよう頑張ります。
よろしくお祈りいたします。
【中嶋 真優】

令和6年度新規 盲ろう者通訳・介助員新規登録者紹介

- ① 名前 ② 住所
- ③ 手話サークル



- ① たかだ ななこ 高田 菜々子
(きこえる)
- ② 白山市
- ③ てのひら



- ① まえだ せいじ 前多 誠二
(きこえる)
- ② 金沢市
- ③ あての会



- ① こまた まさよ 小俣 雅代
(きこえる)
- ② 金沢市
- ③ あての会
いなほ



- ① みなみ かおり 南 かおり
(きこえる)
- ② 志賀町
- ③ しゅわっち



- ① まつむら ゆみ 松村 由美
(きこえる)
- ② かほく市
- ③ つつじの会



- ① おはら やすのり 小原 泰典
(きこえる)
- ② 金沢市



- ① さかもと 坂本 ネナ
(きこえる)
- ② 金沢市
- ③ あての会



盲ろう者向け通訳・介助員派遣説明会

4月6日(土)、石川県女性センターにて盲ろう者向け通訳・介助員派遣説明会および現任研修会を開催しました。新規登録者7名を含む41名にご出席いただきました。

派遣説明に関しては、変更点および改めての確認事項などをお話ししました。また、介助員皆様の声を下に、通訳・介助時は社会的マナーや交通ルールを守った対応で統一することも確認いたしました。

現任研修会では、「視覚障害者の支援について考える～共に生きる社会を目指して～」のテーマで(社福)石川県視覚障害者協会の米島芳文理事長にご講演いただきました。「周りが先回りしてやると、自分でやる貴重な機会を失う。残存する五感を駆使し、視覚障害者が自分で行うためのサポートを心がけてほしい。」また、「盲ろう者が選択し、決定した内容を尊重することが大切。自己選択・自己決定できることが人としての尊厳を保つことに繋がる。」と伺い、支援活動を行うにあたり大切なことを改めて確認する貴重な機会となりました。

藤平施設長の挨拶の中にもあった「介助員がお世話しすぎるにより、盲ろう者が自分でできる機会を奪ってしまう。盲ろう者が自己選択・自己決定できるような情報提供が大切である。盲ろう者が選択・決定したことを尊重する通訳・介助を。」との話と共通しており、より良い通訳・介助をするための良き研鑽の機会となりました。今年度も、皆さまどうぞよろしくお願い致します。



地域活動支援センターあさがおハウス

あさがおハウスだより

令和6年3月から4月の活動の様子です。

3月4日（月）ひなまつり行事でお内裏様の衣装などを手作りしました。衣装と小物のグループに分かれて話し合いながら作りました。今回は立候補によりお内裏様役が決まりました。衣装をまとってきりっとした表情で役になりきっています。お見事でした。やなぎだハウスの皆さんの思い出の一つになったのでしょうか。さて、来年はどなたがお内裏様をされるでしょう？



3月8日（金）やなぎだハウスの皆さんと初めてバスで出かけました。白山市鳥越にて、そば打ち体験をしてきました。グループに分かれてやさしい講師の方々に教わり、丁寧に仕上げていきました。自分で打ったお蕎麦は格別です。茹でたてを堪能しました。



4月8日（月）兼六園と金沢城公園の五十間長屋を散策してきました。この日は最高のお花見となりました。ろうあハウス所長の吉岡さんが応援に駆けつけてくださり、やなぎだハウスの皆さんも笑顔があふれていました。一週間後の4月15日（月）には、いしかわ動物園に出かけ、動物に癒されてきました。

